

第2次三重県基本計画の概要

計画のポイント

「電子部品・デバイス・電子回路製造業、輸送用機械器具製造業、化学工業」といった、基幹産業の競争力の維持・強化を図りつつ、航空宇宙、環境・エネルギー、ヘルスケア関連など新たな成長分野の投資を促進し、地域経済の成長につなげる。また、三重の特色ある農林水産物や観光資源を生かして、「食」関連産業や観光関連産業等の付加価値を高める等により、観光誘客や海外市場の獲得などを進める。

促進区域

三重県全域（津市、四日市市、伊勢市、松阪市、桑名市、鈴鹿市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、志摩市、伊賀市、木曾岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町、多気町、明和町、大台町、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町、紀北町、御浜町、紀宝町）

経済的効果の目標

地域経済牽引事業による付加価値創出額を積み上げる方法により、目標値を定めることとする国の方針を踏まえ、県内の地域経済牽引事業の促進により、計画中（令和6年度～令和10年度）に、6,534百万円（平均99百万円/件×66件）の付加価値を創出することを目指す。

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性の活用戦略に沿った事業であること（①～⑦のいずれか）】

- ①輸送用機械、電子・電機、石油・化学、生産用機械等の関連企業の集積を活用した成長ものづくり関連産業
- ②特色ある農林水産物を活用した農林水産・地域商社
- ③「みえフードイノベーション・ネットワーク」などを構成する事業者等の知見を活用した食関連産業
- ④伊勢神宮や世界遺産の熊野古道、テーマパーク、伊勢志摩国立公園などの観光資源を活用した観光、文化関連産業
- ⑤四日市コンビナートを中心とする、化学・素材・燃料製造業の集積を活用した環境・エネルギー関連産業
- ⑥みえメディカルバレー構想のネットワーク等を活用したヘルスケア関連産業
- ⑦優秀なIoT関連人材を活用し、DXの観点から、上記6種類の関連産業を支援する、スタートアップ企業等によるデジタル関連産業

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：5,447万円超

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- 取引額：8.8%増加
- 雇用者数：2%増加
- 売上げ：8.8%増加
- 雇用者給与等支給額：7%増加

制度・事業環境の整備

- ・固定資産税減免措置制度の創設
- ・工場立地特例対象区域の設定
- ・オープンデータカタログサイト「BODIKODCS」の充実
- ・事業環境の整備に向けた対応窓口の設置（ほか）

地域経済牽引支援機関

産業支援機関、地域金融機関、産業団体、三重大学、高等専門学校、人材育成機関、公設試験研究機関 等

《促進区域図》

県産農林水産物を活用した商品開発例

三重県の特色ある農林水産物

ものづくり産業を支える四日市コンビナート

伊勢志摩国立公園
(G7伊勢志摩サミット、G7交通大臣会合開催地)

世界遺産熊野古道

計画期間

計画同意の日（令和6年4月1日）から「令和10年度末日」まで